

CODE BLUE SEMINAR REPORT 4th

コード・ブルー(子ども医療体験)セミナーレポート 2025



うだるような“暑さ”の中、今年も『コード・ブルーセミナー』を開催することができました! 当院が誇る大人気コンテンツであることから、参加人数を1.5倍に増やし、“熱い”参加希望コメントを記載してくれた子どもたちに集まってもらいました。熱心な受講姿勢に教える側の我々スタッフの方が逆にパワーを貰うことができました。「開催してよかった!」、「参加して良かった!」、そんな企画であり続けていこうと思えた真夏の一日でした。来年も期待して待っててください!!

広報委員会 委員長 最上 敦彦



CODE BLUE 4th SEMINAR REPORT

未来の命を救う力にふれる一日

2025年6月21日(土)に開催したコード・ブルーセミナーの様子をレポートいたします。

今回のセミナーは、地域の子どもたちに当院や医療に対する興味・関心を持ってもらおうと準備を進めてきた企画です。当日は300名以上の応募者から抽選で選ばれた36名の小中学生が参加し、実際の現場で使用する医療器材を用いた各種医療体験を通じ、救急医療に携わる医師・看護師・スタッフと交流をしていただきました。

医療の現場がはじめてとあって、子どもたちの新鮮な驚きやイキイキとした表情が印象に残りました。

report 01 ドクターヘリポート見学

救急コール「コード・ブルー」に対応し救急現場へいち早く医師・看護師を連れていくドクターヘリ。機内には初期治療に必要な医療機器や医薬品がズラリと並び、普段見ることのできない光景に子どもたちは目が釘付けに。出動は年間約1,000件を超えると知り更にびっくり!



report 02 エコー(超音波検査)体験

「肝臓」ってここにあるんだ! 血管が脈打っている! そんな声が飛び交ったエコー体験。自分の体の中を覗く不思議な感覚は生まれて初めての経験でした。



report 03 ギプス固定体験

水に浸すと固まる特殊な素材を使ったギプス固定体験。固定された姿を見せ合い、微笑ましい場面が多くみられました。子どもたちには包帯を巻くコツも伝授されました。



report 04 AED(自動体外式除細動器)体験

実際の講習会等で使用されるAEDのデモ機と人形を使って、心肺蘇生とAEDの使い方を体験。看護師の指導の下、子どもたちは一生懸命取り組んでいました。



report 05 手術縫合体験

実際の手術室で行われた手術体験では、手術着・手袋を装着。皮膚に見立てた練習用パッドに執刀し、悪戦苦闘しながら縫合の糸結びまでやり切りました。



ドクターヘリの中身を見て嬉しかったし、超音波検査もできてよかったです。ギプス固定体験もうまく固定できて嬉しかった。

小学5年生(男)

ギプス固定や縫合について学べて、すごく楽しかったです。

小学6年生(女)

コード・ブルーセミナー を振り返って

第4回

コード・ブルーセミナー

2025年6月21日(土)

色々新しいことを知り、楽しい体験ができて、病院の仕事に興味をもちました。

中学1年生(男)

縫合体験やドクターヘリ見学、ギプス固定や超音波検査等を体験しました。うまくできた事も、できなかった事もありましたが、少しでも経験を活かして、将来のために全力で頑張ります。

中学3年生(女)



interview



参加者 小学6年 つばささん

手術やギプスの体験も楽しかったけど、ドクターヘリを近くで見ることができた事が、一番嬉しかったです。中は思っていたよりも広くて色々な道具がありワクワクしました。パイロットはカッコいいなと思いました。僕はこの病院で産まれたので、病院のことが知れて良かったです。



参加者 中学2年 あゆみさん

今回一番楽しみにしていたのは、縫合体験でした。医療系のドラマを見るのが好きで、実際にやってみたくて思っていました。私は左利きで、手術道具の使い方が難しいと感じましたが、先生が丁寧に教えてくれて、少し上手にできるようになって嬉しかったです。将来の選択肢が増えました。



大森 救急診療科医師

ドクターヘリ見学や救急処置体験での子どもたちの真剣な眼差しが印象的でした。皆さんが将来医療の道に進むかは分かりませんが、今回の経験が何かのきっかけになれば幸いです。ご家族で医療について話し合うきっかけにもなり、地域全体で医療への理解が深まることを期待しています。



順天堂大学 医学部 附属 静岡病院
JUNTENDO UNIVERSITY SHIZUOKA HOSPITAL

〒410-2295 静岡県伊豆の国市長岡1129番地
TEL:055-948-3111(代表)